

新任保健師の実践能力到達目標チェックシート(新任保健師と指導保健師による相互確認用)

【行政における看護実践】

<平成19~21年度 岐阜県立看護大学共同研究事業「保健師の実践能力の発展過程と現任教育のあり方」の研究成果に基づく>

実践能力の大項目	中項目	4ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	11ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	目標達成に近づくための経験例		
										県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
所属組織と活動の成り立ちの理解	組織の成り立ちと意思決定過程の理解	・所属する組織の構造と構成員を理解する。	<input type="checkbox"/>			・行政の意思決定過程を理解する。	<input type="checkbox"/>			・地域の公衆衛生年報を確認する。 ・担当業務に関連した各種計画書を確認する。 ・研修医・看護学生等に対する保健所概要説明時に参加する。 ・年度当初に保健所が市町村保健担当課長を対象に実施する事業概要説明会に参加する。 ・一事業を企画から実施まで体験する。	・岐阜市健康基本計画等、各種計画書を確認する。 ・健康部異動者(新人)研修会に参加する。 ・岐阜市各事業要綱、要領を確認する。 ・予算書・決算書を確認する。 ・先輩・同僚と岐阜市の健康課題・事業目的・事業経緯を確認しあう	・事業計画の検討時に、計画策定時の目標との整合性などを意図的に行う。 ・組織の成り立ち、基本計画について自己学習する。 ・予算書について説明し、次年度予算を考える。 ・事業反省に基づき起案書の作成を理解する。 ・一般業務(予防接種や各種健診など)について、起案作成を試みる。 ・議会の傍聴等を行う。(集合研修)
	施策と事業の位置づけ・成り立ちの理解	・当該行政組織(県、市町村)で実施する様々な事業を知る。特に保健事業に関しては、根拠となる法律、予算について理解する。	<input type="checkbox"/>			・行政の役割、行政における保健師の役割について検討を深める。	<input type="checkbox"/>					
	行政の役割の理解	・当該行政組織(県・市町村)の行政方針、自治体の基本計画を知る。	<input type="checkbox"/>			・行政施策の中での保健事業の意味や意義を考え、評価を試みる。 ・自治体の基本計画、保健・福祉計画、当該年度の保健・福祉事業計画の関連を知る。	<input type="checkbox"/>					
50 施策化	地区診断に基づくニーズ把握と施策化・事業化	・所属する市町村や担当地区に関する情報、資料、データ等を集め、地域の現状を知る。	<input type="checkbox"/>			・国の施策を理解し、所属する市町村の保健計画や保健事業との関連を理解する。	<input type="checkbox"/>			・法・制度を確認する。 ・厚労省のホームページ等で国の動向を把握する。 ・岐阜市衛生年報等、統計データを分析し、地区の現状を把握する。 ・自治会等の地区団体に対し岐阜市の健康課題の説明資料を作成する。 ・訪問、相談等で得られた住民の声をカテゴリー別に整理する。(所属部署によってはセンター職員等から住民の声や意見を把握する。) ・保健活動連絡会に参加する。	・全体のデータを見る。 ・担当事業のまとめを行い、事業評価を行う。 ・業務担当の会議にて、次年度計画を考える。 ・重点事業施策時に地域の現状を把握する。 ・健康づくり推進計画を見る、基本計画策定会議に出席して理解する。 ・家庭訪問や健診時に地区の状況を理解したり感じたりする。	
	基本計画に位置づく施策化	・地域の特徴を説明でき、地域の健康問題が、どのようなところにありそうか推察する。	<input type="checkbox"/>			・集めた資料などから、地域のニーズを読み取り、さらに必要な情報やデータを集め、地域のニーズを明らかにする。 ・個別事例への関わりから得られたニーズから、地域全体へのニーズにつなげて考える。	<input type="checkbox"/>					
	サービス基盤の整備を視野に入れた保健医療福祉計画策定への参画 ニーズを説明し、予算化する					・地域のニーズを他者に説明できる資料を作成する。 ・ニーズに即した事業計画作成を試みる。 ・次年度の計画立案について所属組織全体の検討の場(会議等)に参加し、検討されている内容を理解する。	<input type="checkbox"/>					

実践能力の大項目	中項目	4ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	11ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	目標達成に近づくための経験例		
										県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
地域のヘルスケア体制整備	現状のヘルスケア体制のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 自治体、管轄地域、担当地域等のヘルスケアに関わる資源の現状を知る。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 現状のヘルスケア体制において、資源が有効に機能しているかを調べ、現状を把握する。 現状のヘルスケア体制において、不足している資源はどのようなものか、地域のニーズと合わせて検討できる。 地域の資源である機関や関係職種と連絡を取り合い、意見交換をし、つながりを作る。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問を市町保健師と同行訪問したり、もしくは担当保健師に会って報告するなどコミュニケーションを図る。 市町の母子保健事業体系を把握すると共に、関係機関の役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施率、満足度等を把握する。 地区の役員、団体へ挨拶し、地区担当保健師であることを知ってもらう。 包括支援センター等関係事業機関に対しても地区担当保健師であることを知ってもらう。 事業・支援事例等において連携を図り、関係機関・関係職種の役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区担当制の導入により、様々な地域資源の活用や他機関との関わりの中で、担当地区のニーズの把握など考えていく。 他課との連携において地域の情報を得る。 保健事業と関連させて、地域のニーズにつなげる。
	今ある資源が有効に機能するようにする		<input type="checkbox"/>									
	不足している資源をつくり出す		<input type="checkbox"/>									
	資源の有機的なつながりをつくる		<input type="checkbox"/>									
健康危機管理	発生時の活動組織を理解する	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル等で、健康危機発生時の活動体制や役割を確認する。 健康危機発生時には、先輩保健師の指導を受けて援助内容を確認する。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 機会あるごとに訓練への参加やマニュアルに目を通し、健康危機発生時の活動体制や役割の理解に努める。 担当事業・地区において、健康危機発生時（予防接種事故、感染症等）に起こりうる問題を予測し、対策や必要な準備を考えてみる。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 防護衣の着脱訓練に参加する。 各種感染症発生時の疫学調査(施設・家庭)に同行する。 災害時における保健活動マニュアルを確認する。 「岐阜県が被災した場合の保健活動チェックリスト」を確認する。 担当業務における事故発生時への対応を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜市地域防災計画・岐阜市災害時保健活動マニュアル等岐阜市の防災対策について確認する。 他県及び岐阜県の災害時保健師対応マニュアルを知る。 岐阜市災害時保健師活動ファイルの内容を更新する。 災害時職員クイックマニュアルを確認する。 災害時の自分の出勤場所を知る。 担当業務における事故発生時(予防接種事故、健診中の事故、感染症の発生等)への対応を考える。 各種感染症発生時の疫学調査(施設・家庭)に同行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練等による体制整備、演習を経験する。 台風等、災害時の担当等のマニュアルを見る。 岐阜県災害時における保健活動マニュアルを確認する。 担当業務における事故発生時(予防接種事故、健診中の事故、感染症の発生等)への対応を考える。
	発生時の住民ニーズに基づき活動する		<input type="checkbox"/>									
	健康危機に備えた平時の活動		<input type="checkbox"/>									

【看護過程の展開】

実践能力の大項目	中項目	4ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	11ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	目標達成に近づくための経験例		
										県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
地区活動の展開	地域のアセスメント(地区診断)	・地区診断のために必要な情報を考え、情報収集を開始する。	<input type="checkbox"/>			・所属する市町村や担当地区に関する情報を既存資料や実践を通して集め、総合的に地域の健康問題のアセスメントを行い、資料を作成する。	<input type="checkbox"/>			・担当業務に関連した、各市町村の各種計画書を活用し、資料収集を行う。 ・訪問を実施、同行する。(母子・結核・難病・精神障害等) ・育児支援教室の実施と評価を行う。	・国民衛生の動向、衛生年報、他都市のホームページ等の統計資料を読み取る。 ・各事業実績を分析する。 ・家庭訪問、地区で開催される事業への参加、地区役員等から、情報収集する。	・児童育成計画策定の際に母子保健事業に関する数字を拾い出す。 ・乳児訪問を実施する。 ・高齢者要支援者訪問を実施する。 ・特定保健指導対象者訪問を実施する。 ・特定健診、健診の実施結果の分析を行う。 ・他課や組織との関わりの中で情報収集を行う。 ・母子保健事業の健診や教室を実施する。 ・地区を担当して、家庭訪問を実施する。 ・その中で、情報収集を実施する。
	地区活動の計画作成	・所属する市町村や担当地区に関する情報を既存資料や実践を通して集め、地域の健康問題のアセスメントを開始する。	<input type="checkbox"/>			・地域の健康問題のアセスメントをする際には、保健福祉事業の利用のない人々も含めて、対象地区全体の状況を把握する。	<input type="checkbox"/>					
	地区活動の評価・改善					・地域の健康問題や取り組むべき活動の方向性について、保健事業の計画、実施、評価を通して、同僚の保健師等と、検討する。	<input type="checkbox"/>					
保健福祉事業の展開	住民のニーズと事業の目的の明確化	・既存資料・前年度実績から事業にかかわる住民ニーズを確認し、事業目的を理解することができる。	<input type="checkbox"/>			・各事業について、常に目的を意識して実施することができる。	<input type="checkbox"/>			・事業前に実施目的を常に確認する。 ・育児支援教室を実施する。 ・担当業務に関連した各市町村の保健事業の見学、もしくは一部の役割を担う。	・事業実施目的を常に確認する。 ・各種事業(乳幼児健診、健康相談、健康教育、特定保健指導、やるまいか等)・カンファレンスに参加する。 ・保健活動検討会へ参加する。	・保健事業に参加する。 ・母子保健事業一乳幼児健診相談事業、母子健康教育(妊婦学級、離乳食教室など) ・成人保健事業一健康相談、健康教育、特定健診 ・健康づくりー健康講演会、健康教育
	住民ニーズと地域特性に合わせた方法を計画する	・スタッフとして関わった事業の方法とその方法を取っている理由を理解することができる。	<input type="checkbox"/>			・事業を通して住民のニーズを捉える。	<input type="checkbox"/>					
	目的を理解しながら実施する	・参加した事業について効果と改善点を検討することができる。	<input type="checkbox"/>			・担当事業の方法を住民ニーズや地域特性をふまえて改善点を検討することができる。	<input type="checkbox"/>					
	保健事業を評価し、改善する					・担当事業について、1年間を振り返って評価し、次年度計画をたてることができる。	<input type="checkbox"/>					

実践能力の大項目	中項目	4ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	11ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	目標達成に近づくための経験例			
										県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村	
個人・家族への援助	信頼関係形成	・対象者との信頼関係を形成するためのコミュニケーション方法について自ら考え実行することができる ・健診等の個別面接の場面において、限られた時間または1回のみ面接においても、援助に必要な情報を捉えるために話をきくことができる	<input type="checkbox"/>			・対象者との継続的な関わりの中で信頼関係を築いていくことができる。	<input type="checkbox"/>			<p>・家庭訪問を実施する。(母子・結核・難病・精神障害)</p> <p>・各種医療費助成申請者への対応、または、ニーズ把握を目的とした面接を行う。(特定疾患・小児慢性特定疾患)</p> <p>・エイズ検査受診者の問診を行う。</p> <p>・被爆者健診受診者の問診を行う。</p> <p>・保健師が対応している精神保健相談に同席する。</p> <p>・下記事業を通して個別支援を実施(家庭訪問、乳幼児健診、健康相談、特定保健指導カンファレンスに参加)し、カンファレンスに参加する。</p> <p>・訪問記録、事業記録を作成する。</p> <p>・フォーマル、インフォーマルサービスを把握する。</p> <p>・事例検討する。</p>	<p>・下記事業を通して個別支援を実施(家庭訪問、乳幼児健診、健康相談、特定保健指導カンファレンスに参加)し、カンファレンスに参加する。</p> <p>・訪問記録、事業記録を作成する。</p> <p>・フォーマル、インフォーマルサービスを把握する。</p> <p>・事例検討する。</p>	<p>・下記事業を通して個別的支持を実施する。</p> <p>・赤ちゃん訪問(訪問でわからないことは先輩の助言を聞く、訪問後の振り返り表、指導者のコメント)</p> <p>・乳幼児健診(カンファレンスで必要な情報を把握できたか振り返り、メンバーからの助言)</p> <p>・特定保健指導</p> <p>・要支援者(うつ5点の者)への家庭訪問</p> <p>・乳児訪問</p> <p>・禁煙個別支援</p>	
	個人・家族のアセスメント		<input type="checkbox"/>			・個別支援事例を受け持ち、適宜指導者の助言を受けてアセスメント・計画・評価を実施することができる。	<input type="checkbox"/>						
	支援計画作成	・継続的に関わっている事例について、援助に必要な情報を捉えるために話をきくことができる。	<input type="checkbox"/>			・援助に対する相手の反応を捉えながら、主体的な問題解決を促す援助を試みることができる。	<input type="checkbox"/>						
	記録を作成する	・指導者に助言を受けて、個別の援助記録を作成する	<input type="checkbox"/>			・対象者の反応を見ながら、サービス利用支援の方法を工夫できる。	<input type="checkbox"/>						
	実施した援助を評価し、支援計画を修正する	・情報収集ができたか、適切な判断ができたか、適切な援助ができたか、指導者の助言を受けて自己評価できる	<input type="checkbox"/>			・対象者をサービス利用につなげ、サービス利用後の対象者の状況を確認できる。	<input type="checkbox"/>						
	対象の意思を尊重して主体的な問題解決を促す援助を実施する	・対象の意思(希望・意欲・認識等)を捉える。	<input type="checkbox"/>										
	サービス利用支援	・対象者に応じたサービスや資源の情報提供ができる。	<input type="checkbox"/>										

実践能力の大項目	中項目	4ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	11ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	目標達成に近づくための経験例		
										県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
所属機関中での連携・協働	同じ部署にいる保健師チームの一員として行動する	<ul style="list-style-type: none"> 参加する事業で役割を果たすために、不足している知識・技術がわかり、自己学習できる。 把握した対象の情報をもとに自らの判断・対応を報告することができる。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 所属部署に対する組織的理解が深まり、組織の中で自分がとるべき役割や行動が考えられる。 優先度を考えて相談・報告できる。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 地域活動検討会に参加する。 常にグループ内での情報交換を実施する。 研修報告会(職場研修)に参加する。 保健所と市民健康センターの情報交換を蜜に行なう。 保健所業務・センター業務を整理する。 事例や事業を通じ、子ども家庭課、発達相談センター、国保・年金課、介護保険課の保健師と連携を図る。 地域保健検討会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ職場の保健師と自己学習をしたり、質問をしあう。 健診後のカンファレンスをはじめとする通常業務の中の情報交換を行う。 定期的実施する保健師打ち合わせ会議において、継続ケースの検討会を実施する。 保健師の自主学習会に参加する。 事業についての話し合いを行う。 	
	異なる部署にいる保健師と連携・協働する	<ul style="list-style-type: none"> 自分から質問したり、相談を持ちかけることができる。 担当外の業務にも関心を向け、所属機関の利用者に対する一次的対応ができる。 担当業務で連携が必要な他部署の保健師がわかり、お互いの役割が理解できる。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 個別援助の内容を検討するため、他者に必要な情報を示して、相談・意見交換できる。 担当業務について、他部署の保健師と意見交換できる。 	<input type="checkbox"/>					
倫理に適った看護実践	プライバシー保護	<ul style="list-style-type: none"> 守秘義務を遵守する 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 守秘義務を遵守する 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 各種医療費助成事業申請者への配慮を行う。 各種申請書類の扱い エイズ相談 精神保健相談 	<ul style="list-style-type: none"> 公務員倫理の研修(職場研修)に参加する。(岐阜市職員倫理条例、岐阜市超過処分の指針等を確認する。) セキュリティ研修に参加する。 人権研修(職場研修)に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業毎の振り返りに反省し自覚する。
	人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> 看護の実施にあたって、人権を尊重する 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 看護の実施にあたって、人権を尊重する。 	<input type="checkbox"/>					

【自らの専門性を高める】

実践能力の大項目	中項目	4ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	11ヶ月時点到達目標	到達度チェック	具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	目標達成に近づくための経験例		
										県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
実践の中で研鑽する能力	看護実践を重ねる過程で専門職としての自らの能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> 自分の看護実践を振り返り、自分自身の課題を明確にする 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題解決に向けて自主的に取り組むことができる。 	<input type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> 事例検討会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新人研修(岐阜県・岐阜市)を受ける。 新人研修での課題をまとめ報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健師による定期会議と学習会により、自己の振り返りと解決を考える。 役割達成度の評価を行う。(乳児訪問、妊婦相談、乳幼児健康相談などで自己記録を作成し振り返りをする)
	看護実践上の課題の解決に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の課題解決に向けて、自己努力をする 	<input type="checkbox"/>									

5年目保健師の実践能力到達目標チェックシート(5年目保健師と指導保健師による相互確認、取り組み計画・実施内容記載用)

<平成24~27年度 岐阜県立看護大学共同研究事業「保健師の実践能力の発展過程と現任教育のあり方」の研究成果に基づく>

所属 氏名

保健師としての勤務年数: 年 ヶ月(*勤務年数とは育児休業等の休業・休職期間を除いた期間です)

【行政における看護実践】

56

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度チェック		具体的な到達状況	指導保健師から受けた助言	到達目標達成に向けた取り組み計画(未到達項目)	メモ欄 (実際に取り組んだことを各自記入)	目標達成に近づくための経験例		
			1回目:前期研修時	2回目:後期研修時					県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
1. 所属組織と活動の成り立ちの理解	① 組織の成り立ちと意思決定過程の理解	担当する保健福祉介護事業の企画立案に携わり、行政施策との関連で担当事業の成り立ちを理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>・到達した場合にチェックする</p> <p>・到達度のチェックは、5年目保健師と指導保健師と一緒に相談する機会を持ち、話し合いながらチェックしましょう</p>	<p>指導保健師から受けた助言を記入してください</p>	<p>・未到達の項目について、到達目標の達成に向けて、どのように取り組むか等の計画を立てましょう</p> <p>・指導保健師等の助言を受け、5年目保健師が記入する(1回目チェック時)</p>	<p>・担当する事業の予算編成などの企画立案を担当し、施策との関連で事業の成り立ちを理解する。</p> <p>・担当する事業の数値評価を含む評価を行い、所属自治体の施策との関連を確認する。</p>	県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
	② 施策と事業の位置づけ・成り立ちの理解	担当する保健福祉介護事業の評価を通じて、所属自治体の基本計画、保健福祉介護計画との関連を確認することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	③ 行政の役割の理解		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
2. 施策化	④ 地区診断に基づくニーズ把握と施策化・事業化	担当事業の評価結果や住民の健康課題に基づいて、所属自治体の保健福祉介護計画を見直したり、あるいは次期計画策定に参画することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>・5年目の具体的な到達状況について、5年目保健師が記入する</p> <p>・到達していない場合でも、その状況を記入する</p>		<p>・取り組み計画をもとに実際に取り組んだことをメモするなどして、実践能力の修得にチェックシートを活用しましょう(1回目チェック後、随時記入する。2回目チェック時に追記する)</p>	<p>担当事業の現状分析により明確になった課題を所属自治体の保健福祉介護計画の見直しに反映させる。</p> <p>所属自治体の保健福祉介護計画の見直しにおいて、住民ニーズに基づいた計画立案に参画する。</p> <p>前年度の評価を基に事業担当者として予算を提案する。</p> <p>担当事業の予算獲得のために事業の必要性を説明する。</p> <p>・担当事業の予算編成や関連する多職種との調整など事業全体のマネジメントを担当する。</p> <p>・所属自治体の保健福祉介護計画に基づいて担当事業計画を作成する。</p>	県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
	⑤ 基本計画に位置づく施策化	担当する保健福祉介護事業について、健康課題(根拠)に基づいて予算などの活動計画を立案し説明することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	⑥ サービス基盤の整備を視野に入れた保健医療福祉計画策定への参画	所属自治体の各種計画に基づいて保健福祉介護事業を立案することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	⑦ ニーズを説明し、予算化する		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)	目標達成に近づくための経験例		
			1回目:前期研修	2回目:後期研修					県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
3. 地域のヘルスケア体制整備	⑧ 現状のヘルスケア体制のアセスメント	担当事業・地区において、現状のヘルスケア体制や資源を対象者のニーズに照らして評価し、改善策や今後の支援を検討する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<ul style="list-style-type: none"> ・担当事業・地区活動で関わる対象者が活用する地域資源について現状・思い等を含めて把握する。 ・担当事業・地区活動について、協働する関係機関・関係者ととも改善策や年度計画を検討する。 ・関係機関・関係者と連携・協働する中で、地域内の人的・物的資源や提供されているサービスについて情報収集する。 		
	⑨ 今ある資源が有効に機能するようにする	担当事業・地区におけるヘルスケア体制や資源のアセスメント結果を関係機関・関係者と共有し、改善・充実に向けた検討を働きかける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	⑩ 不足している資源をつくりだす	地域のフォーマル・インフォーマルな資源を把握し、これらの資源を活用した活動計画をたてる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	⑪ 資源の有機的なつながりをつくる										
4. 健康危機管理	⑫ 発生時の活動組織を理解する	健康危機管理に関する研修・訓練、派遣活動への参加、およびマニュアル等を読むことを通して、先輩保健師とともに所属機関・部署の今後の課題を検討する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<ul style="list-style-type: none"> ・健康危機管理に関する研修・訓練、派遣活動の機会があれば、積極的に参加する。 ・健康危機発生時の対応(特に初動について)や、災害地への派遣活動についてマニュアル等で確認しイメージしておく。 ・マニュアルや活動指針等をもとに、職員間で健康危機発生時の活動やその備えについて話し合う。 ・担当事業・地区において、災害時に優先的に援助が必要な対象者をリストアップする・マップ作成する。 			
	⑬ 発生時の住民ニーズに基づき活動する	健康危機発生時には保健師チームの一員として活動する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	⑭ 健康危機に備えた平時の活動	担当事業・地区において、健康危機発生に備えるために必要な対策・準備を先輩保健師とともに検討し、できることから実施してみる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

【看護過程の展開】

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度田エック		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)
			1回目:前期研修時	2回目:後期研修時				
5. 地区活動の展開	⑮ 地域のアセスメント(地区診断)	これまでの住民との関わりを積み重ねて地域に共通する健康・生活課題を把握し、既存データと照合して説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	⑯ 地区活動の計画作成	地区活動の方針を検討し、計画を立て実施することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	⑰ 地区活動の評価・改善	地区活動を評価するための実態把握の方法を検討できる。 住民全体の健康に責任をもち、地域に潜在する支援が必要な住民を把握する方法を検討できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度田エック		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)
58 6. 保健福祉事業の展開	⑱ 住民のニーズと事業の目的の明確化	住民と接して捉えた生活状況と数値的データから担当する保健福祉事業に関する住民のニーズや地域特性を分析できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	⑲ 住民ニーズと地域特性に合わせた方法を計画する	保健福祉事業全体の中での担当する事業の位置づけを理解し、目的を再検討し、必要性を説明できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	⑳ 目的を理解しながら実施する	担当する保健福祉事業を目的に照らして評価し、改善方法をあげることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	㉑ 保健事業を評価し、改善する	担当する保健福祉事業の改善方法を保健師チーム、他職種・他機関、住民と検討し、住民のニーズと地域特性に合った事業を計画・実施できる。 担当する保健福祉事業について、改善した方法で実施した事業の効果を、住民の反応や数値的データから評価し、次年度の計画を立てることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

目標達成に近づくための経験例		
県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
		<ul style="list-style-type: none"> これまでの支援で関わった住民の健康生活状況と健診データをつなげて、地域の健康課題を分析する。 人口動態の変化と住民の生活実態との関連がわかるようになる。 地区の情報を保健師間で共有し、地区の健康課題は何か、今後必要な支援は何か、話し合う。 健康課題を解決するために、一つの事業だけではなく他の方法も組み合わせで検討する。 担当地区内の訪問指導や健康教育等を地区活動計画の中に位置づけて実施する。 乳幼児健診未受診者の未受診理由や未受診者の傾向を分析する。 ハイリスク者へのアプローチ方法を検討し要援助者を把握する。
目標達成に近づくための経験例		
県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
		<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉事業を計画から評価まで責任を持って担当する。 事業報告書から実績を確認する。 事業の参加者、不参加者から考えや思いを情報収集する。 数値的データを分析をする。(例:医療費、健診・検診結果など) 組織としての方針を確認する。 予算の裏付けを確認し、事業計画を修正する。 関係する課や機関と事業を検討する会議に出席し、事業担当者として説明する。 保健所のヒアリングに同席する。 住民に事業の成果を報告する機会をもつ。 事業報告書を作成する。

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)	目標達成に近づくための経験例		
			1回目:前期研修	2回目:後期研修					県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
7. 個人・家族への援助	㉒ 信頼関係形成	複雑困難な事例においても、対象との信頼関係を形成し、その進展に応じたアプローチ方法を工夫し継続的な援助を実施できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<ul style="list-style-type: none"> ・複雑困難な事例を責任をもって受け持ち、継続的な支援を行う。必要性を判断し、関係者・上司に相談する。 ・特定保健指導、乳幼児健診事後等の事例を受け持ち、生活習慣改善、育児支援等、事例に必要な支援を継続して行う。 ・実施した援助を記録・資料として整理し、自己評価を行う。必要に応じて他者(他職種、上司)からの評価を受ける。 ・担当地区の訪問対象者(個別援助対象者)をリストアップし優先順位を検討した支援計画を立てる。 		
	㉓ 個人・家族のアセスメント	複雑困難な事例に対しても、所属内上司・同僚や他職種等と検討する機会をもち、問題解決に向けて支援計画を作成し援助に取り組むことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	㉔ 支援計画作成	対象者の生活と健康状態との関連をアセスメントし、根拠をもって将来の状況を予測し、援助の必要性を判断できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	㉕ 記録を作成する	対象者の主体的な問題解決を促すために、対象の理解状況に応じて援助方法を工夫し、継続的な支援を実施できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	㉖ 実施した援助を評価し、支援計画を修正する	対象の変化から実施した援助を振り返りアプローチ方法を検討することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	㉗ 対象の意思を尊重して主体的な問題解決を促す援助を実施する	他者にわかるように援助過程をまとめ援助の評価を行うことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	㉘ サービス利用支援	対象世帯の家族員一人ひとりの健康に目を向け必要な援助を行うことができる。 自らは援助を求めないが援助の必要な住民を把握し、責任をもって援助を継続することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度 ^{田エック}		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)	目標達成に近づくための経験例		
			1回目:前期研修	2回目:後期研修					県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
8. 他機関・他職種との連携・協働	②⑨ 対象者の個別ニーズの充足のための連携・協働	担当事例の援助において、支援体制やすでにかかわりのある他機関他職種の役割・機能をふまえて、連携が必要な相手を判断し、連絡を取り、情報収集やともに支援の検討ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<ul style="list-style-type: none"> ・個別事例への援助において連携が必要な状況、連携が必要な他職種他機関を判断し、自ら連絡を取る。 ・被虐待者の生命にかかわる状況において、他職種と援助方針が異なった場合に、保健師として対象の援助ニーズを判断して行動する。 ・事業の改善や新規事業の取り組みについて、関係機関に説明し、意識的に意見交換を行って進める。 ・関係機関・者に事業効果がわかるように工夫して資料を作成する。 ・関係者や関係機関との連絡会議で活動や実績を報告し、事業効果を高めるために検討する。 		
	③⑩ 集団・地域のニーズ充足のための連携・協働	担当事例の援助において、協働する他機関他職種と援助における判断が異なった場合には、協働する相手と意見のすり合わせをしながら、保健師として予防・健康という視点をもって援助できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	③⑪ 組織同士の連携・協働を意図した行動	担当する保健事業について、他職種とともに事業を計画し、他職種とともに実施できる。また、保健事業実施後に利用者一人ひとりへの援助を他職種とともに検討し、実施できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	③⑫ チームの一員としての行動	保健事業の推進にあたって、連携・協働すべき他機関とその内容を判断し、働きかけることができる。 他機関と事業の実績を共有し、よりよい事業展開に向けてともに検討できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度田エック		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)
			1回目:前期研修	2回目:後期研修				
9. 住民との協働	③③ 対象者の個別ニーズを充足するための住民との連携・協働	住民のニーズを捉えるためにあらゆる機会を捉えて住民の意見を積極的に聞く。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	③④ 集団や地域のニーズを充足するための住民との連携・協働	地域における住民の自主活動の実態と課題を把握し協働する相手となる住民をみつける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	③⑤ 健康生活を守る住民の主体的な活動を支援する	地域の健康課題の解決につながる活動をしている住民の主体的な活動を促す。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	③⑥ 共通の援助ニーズをもつ人たちの組織づくり	事業実施にあたり推進員などの住民に協力を求め共に実施方法を検討することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	③⑦ 推進員など保健師の協力者・理解者の育成・支援		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度田エック		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)
10. 所属機関中での連携・協働	③⑧ 同じ部署にいる保健師チームの一員として行動する	同じ部署の保健師に対して、事業や活動の充実・改善に向けた提案・検討ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		同じ部署にいる保健師チームの一員として、担当業務以外の活動内容も把握して対応できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	③⑨ 異なる部署にいる保健師と連携・協働する	後輩保健師に対して、先輩保健師とともに助言等の対応ができる。 他部署に所属する保健師と意見交換し、連携・協働を図ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
11. 倫理に合った看護実践	④⑩ プライバシー保護	守秘義務を遵守し、個人情報の保護に配慮した対応ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	④⑪ 人権尊重	看護の実施にあたって、人権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

目標達成に近づくための経験例		
県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
		<ul style="list-style-type: none"> ・住民が集まる場(老人クラブやサロン等)へ出向き、地域の生活実態や健康づくり等に関する意見を聴取する。 ・高齢者サロン等の住民による自主活動の各地区の現状や希望、特徴を整理する。 ・住民の活動成果を認め励まし、他の住民にも伝え認めてもらえる機会をつくり住民活動の活性化を促す。 ・住民同士の交流会を設けて長く活動している人の成果を伝えてもらい、刺激あつて活動が活発になるようにする。 ・母子保健推進員に託児を依頼し、母子と推進員の交流を図るようにする。 ・日中独居の高齢者の見守りのために、民生委員と連絡を取る。 ・母親教室の企画にあたり、先輩ママからの意見を取り入れる。 ・運動教室の参加者に、教室終了後も参加者同士で運動を継続することを勧め、そのための検討会を行う。 ・難病患者の災害時の避難対策について、民生委員や患者会などの住民と協働して取り組む。
目標達成に近づくための経験例		
県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時に事業担当保健師との話し合いの場を設ける。 ・保健師全体で話し合いを行い、課題についての意見交換をする。 ・事業担当者として計画案を会議に出し、皆から意見を聞く。 ・同じ部署の保健師と日常的に相談したり、情報交換して、担当業務以外の活動内容を把握しておく。 ・後輩保健師からの相談に対して、先輩保健師とともに対応する。 ・他部署保健師とも日常的に情報交換し、関係性を作っておく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・会議や連携・連絡の際には、個人情報や文書・メールに残らないように留意する。 ・所属自治体における個人情報保護の条例・規則に則って活動する。 ・虐待事例に関する多職種・多機関等との会議に参加し、被虐待者の安全や人権に配慮した対応について検討する。

【自らの専門性を高める】

実践能力の大項目	中項目	到達目標	到達度 ^④ エック		具体的な到達状況	実践能力向上に向けて指導保健師からの助言	到達目標達成に向けた取組計画(未到達項目)	メモ欄(実際に取り組んだことを各自記入)
			1回目:前期研修	2回目:後期研修				
12. 実践の中で研鑽する能力	④② 看護実践を重ねる過程で専門職としての自らの能力を高める	職場で与えられた役割の遂行を通して、実践能力を高める	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	④③ 看護実践上の課題の解決に取り組む	会議・研修会等を、事業や看護実践の充実・改善に活かす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		自らの実践事例を提示して他者と検討する機会をもつ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

目標達成に近づくための経験例		
県型保健所	政令市保健所・保健センター	市町村
		<ul style="list-style-type: none"> 全保健師が実施する事業について、事業担当の立場で標準的な実施方法を提案する。 保健師間で実施している勉強会の企画を、担当者として担う。 ステップアップ研修に参加して事業評価を行い、評価をもとに事業改善に向けて取り組む。 市町村保健師協議会や岐阜県公衆衛生研究会の活動事例報告会にて、自らの活動事例を報告する。